

UR 22

USB AUDIO INTERFACE

Operation Manual

Benutzerhandbuch

Fonctions Détaillées

Manual de Operaciones

Manuale Operativo

使用说明书

オペレーションマニュアル



EN
DE
FR
ES
IT
ZH
JA

 **steinberg**

目次

目次	2
開発者メッセージ	3
付属ディスクについて	3
電源について	3
Cubase AI のダウンロードについて	3
取扱説明書の読みかた	3
本体について	5
フロントパネル	5
リアパネル	6
Yamaha Steinberg USB Driver について	7
Windows	7
Mac	8
基本的な使いかた	9
接続のしかた	9
DAW ソフトウェアのオーディオ設定	10
録音 / 再生のしかた	10
困ったときは	12
資料	14
Yamaha Steinberg USB Driver のアンインストール	14
ブロックダイアグラム	15
仕様	16

開発者メッセージ

このたびはUSBオーディオインターフェースUR22をお買い上げいただきありがとうございます。
UR22は音楽制作に必要な機能を凝縮して、小さくて頑丈な筐体のなかにスマートにまとめたモデルです。このモデルの特筆すべきことは、コンパクトなモデルながら、上位モデルと同様の高音質設計を行なったことです。その音質を支えるのがマイクプリアンプ「D-PRE」です。この「D-PRE」は、部品選定や回路設計から徹底的にこだわり、伸びやかな高域、密度の濃い中域、パンチのある太い低域をバランスよく実現したキャラクターを持っており、ヤマハ音楽制作用ミキサー n12/n8から始まって、スタインバーグのオーディオインターフェースMR816シリーズ、UR28M、UR824と受け継がれてきました。音楽制作の現場で、多くのミュージシャンやエンジニアから信頼を得てきたこの「D-PRE」を、もっと手軽に活用していただけるように、との思いで生まれたのがこのUR22です。

しかし、マイクプリアンプだけ良い、というのでは真の音楽制作機器として成り立ちません。モニタースピーカーへ出力される音にも同様に繊細な心遣いが必要だと考えています。そういった意味で私たち開発チームがとても大切にしていること、それは、「音の奥行きが見えること」です。左右の広がり、遠くの音、近くの音、大きい音、小さい音、そういった細かいニュアンスをできる限り感じられるような音作りを目指しています。UR22も、そういった私たちのこだわりの中から生まれてきた大切なモデルです。だからこそ、サンプリング周波数192kHzに対応する、といった妥協のない仕様となっています。

そのほかにも、汎用性の高いMIDI端子があったり、USBバスパワーながら2本のコンデンサーマイクを使用できたりと、小さいながら利便性も確保しています。頑丈な筐体は持ち運びにも安心です。

このモデルを通じて、はじめて音楽制作に携わる方からプロフェッショナルなシーンで活躍されている方まで、皆様の素敵な音楽生活に少しでも貢献ができれば、とても嬉しく思います。

スタインバーグハードウェア

開発チーム一同

付属ディスクについて

TOOLS for UR22 CD-ROM

TOOLS for UR22 CD-ROMには、以下の内容が収録されています。

オペレーションマニュアル

本書です。詳しくは、「取扱説明書の読みかた」(3ページ)をご参照ください。

Yamaha Steinberg USB Driver

本体をコンピューターにつなげて使うために必要なソフトウェアです。製品のご使用前に、Yamaha Steinberg USB Driverのインストールを完了してください。Yamaha Steinberg USB Driverは、本体とコンピューターの間でデータをやりとりするためのソフトウェアです。

電源について

UR22は、USBケーブル経由でコンピューターから電源供給を受けるUSBバスパワー機器です。電源コードを使ってコンセントから電源をとる仕様ではありません。

Cubase AIのダウンロードについて

本製品をお買い上げの方には、Cubase AIをダウンロードで提供しています(無償)。下記の手順でダウンロードします。

1. MySteinbergでユーザーアカウントを作成する。
2. MySteinbergにログインし、UR22を登録する。
3. 製品に同梱されている「Download access code」を入力する。
4. 表示されたページからCubase AIをダウンロードする。
ダウンロードが終わったらファイルをダブルクリックしてインストールしてください。

詳細は、以下のスタインバーグのウェブサイトをご参照ください。

<http://japan.steinberg.net/getcubaseai/>

取扱説明書の読みかた

種類と内容

セットアップガイド(紙)

製品に同梱されています。製品を安全にお使いいただくために、はじめに必ずお読みください。

Yamaha Steinberg USB Driverのインストール手順、同梱品、保証書、お問い合わせ先などもご確認ください。

オペレーションマニュアル(PDF)

このオペレーションマニュアルは、TOOLS for UR22 CD-ROMに収録されています。製品の機能や使いかたを調べるためにお読みください。

NOTE

PDFファイルを開くには、Adobe Reader (無料)がコンピューターにインストールされている必要があります。最新のAdobe Readerは、以下のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://www.adobe.com/jp/>

表記

WindowsとMac

手順と説明で、WindowsとMacで操作が違ったり、どちらかのOSだけで使える機能のときは、それを記していません。OSの記述がないときは、両OSで共通です。

手順

手順の一部は、「→」を使って簡潔に記しています。たとえば、「デバイス」→「デバイス設定」→「コントロールパネル」と記しているときは、次のように操作します。

1. 「デバイス」メニューをクリックします。
2. 「デバイス設定」オプションを選びます。
3. 「コントロールパネル」ボタンをクリックします。

キーボードショートカット

キーボードショートカットは、[Windowsのキー]/[Macのキー]+[キー]と記しています。たとえば、[Ctrl]/[command]+[Z]は、Windowsでは[Ctrl]キーを押したまま、Macでは[command]キーを押したまま、[Z]キーを押します。

Cubaseとは

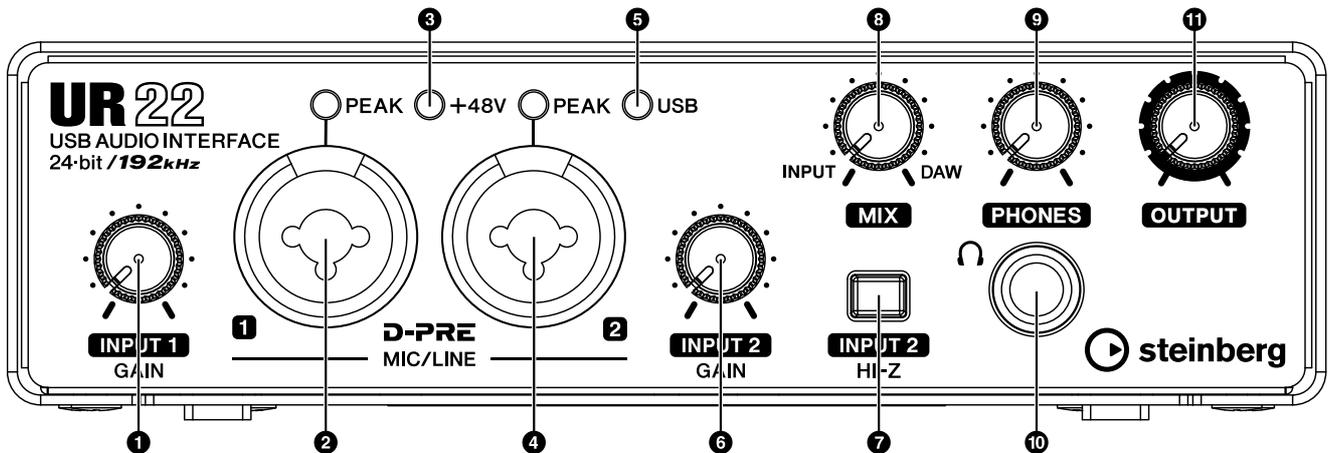
この取扱説明書に出てくる「Cubase」とは、Cubaseのすべてのグレードを指します(Cubase LEは除く)。

画像(スクリーンショット)

説明のための画像は、Windows版を使っています。ただし、Mac版だけの機能を説明するための画像は、Mac版を使っています。

本体について

フロントパネル

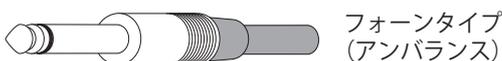
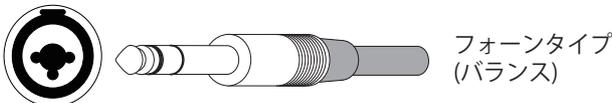


① [INPUT 1 GAIN]ノブ

[MIC/LINE 1]端子の入力信号レベルを調節します。

② [MIC/LINE 1]端子/[PEAK]インジケータ

マイク、電子楽器などをつなぎます。XLRタイプのプラグでつなぐときはマイク入力感度に、フォーンタイプ(バランス/アンバランス)のプラグでつなぐときはライン入力感度になります。



入力信号レベルに応じて[PEAK]インジケータが点灯します。最適な録音レベルにするために、[INPUT 1 GAIN]ノブで[PEAK]インジケータが赤く点灯するまで入力信号レベルをあげます。そのあと、赤く点灯しなくなるまでゆっくりと入力信号レベルを下げます。

③ [+48V]インジケータ

[+48V]スイッチ (ファンタム電源) がオンのときに点灯します。

④ [MIC/LINE 2]端子/[PEAK]インジケータ

マイク、電子楽器、エレキギター、エレキベースなどをつなぎます。XLRタイプのプラグでつなぐときはマイク入力感度に、フォーンタイプ(バランス/アンバランス)のプラグでつなぐときはライン入力感度になります。

入力信号レベルに応じて[PEAK]インジケータが点灯します。最適な録音レベルにするために、[INPUT 1 GAIN]ノブで[PEAK]インジケータが赤く点灯するまで入力信号レベルをあげます。そのあと、赤く点灯しなくなるまでゆっくりと入力信号レベルを下げます。

⑤ [USB]インジケータ

UR22とコンピュータをUSBケーブルで接続し、コンピュータと通信可能な状態になると点灯します。

⑥ [INPUT 2 GAIN]ノブ

[MIC/LINE 2]端子の入力信号レベルを調節します。

⑦ [INPUT 2 HI-Z]スイッチ

[MIC/LINE 2]端子の入力インピーダンスを切り替えます (オン / オフ)。エレキギターやエレキベースなど、出力インピーダンスの高い楽器を[MIC/LINE 2]端子に直接つなぐときは、オンにします。

HI-Zスイッチをオンにするときは、楽器と[MIC/LINE 2]端子をフォーンタイプのアンバランスのケーブルでつないでください。バランスのケーブルでつないだときは、正常に動作しません。

⚠ 注意

- ・[INPUT 2 HI-Z]スイッチをオンにしたまま機器を抜き差ししないでください。外部機器および本体の故障の原因になります。
- ・スピーカー保護のために、モニタースピーカーの電源をオフの状態に、[INPUT 2 HI-Z]スイッチをオン/オフしてください。また、[OUTPUT]ノブなどの出力コントロールは、すべて最小にしておくことをおすすめします。大音量が出て、聴力障害または外部機器の損傷になることがあります。

⑧ [MIX]ノブ

[MIC/LINE]端子に入力された信号(INPUT)と、DAWなどのソフトウェアから出力された信号(DAW)の音量バランスを調節します。[MIX]ノブは、コンピュータに送信される信号には影響を与えません。

⑨ [PHONES]ノブ

ヘッドフォンの出力信号レベルを調節します。この信号のレベルは、[OUTPUT]ノブの影響を受けません。

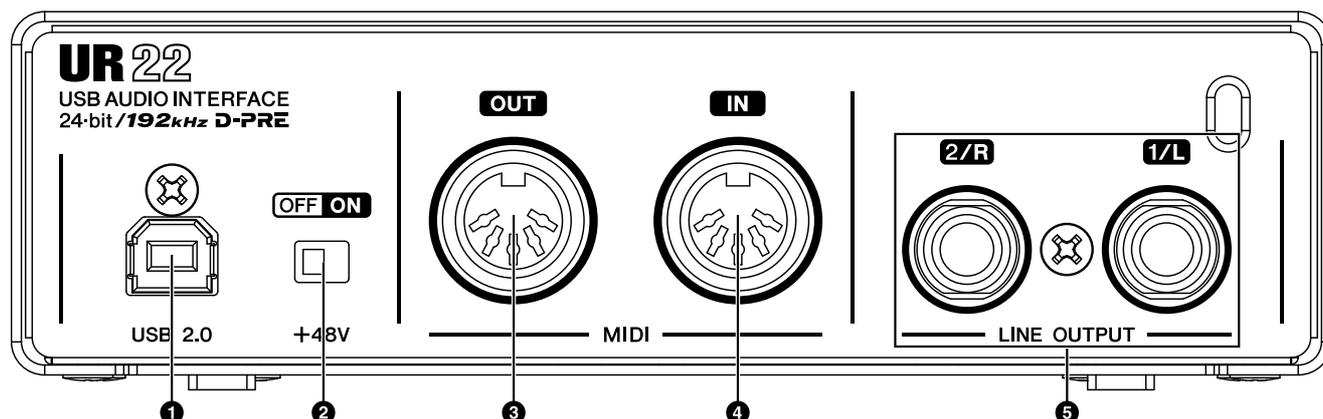
⑩ [PHONES ()]端子

ヘッドフォンを接続します。

⑪ [OUTPUT]ノブ

[LINE OUTPUT]端子の出力信号レベルを調節します。

リアパネル



① [USB2.0]端子

コンピューターとつなぎます。

USB端子ご使用時の注意

[USB2.0] 端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動してください。

注記

- ・ [USB2.0]端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- ・ USBケーブルの抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了させてください。
- ・ USBケーブルを[USB2.0]端子から抜き差しする場合は、[OUTPUT]ノブなどの出力コントロールを最小にしておいてください。
- ・ USBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

② [+48V]スイッチ

ファンタム電源(+48V)をオン/オフするスイッチです。このスイッチをオンにすると、[MIC/LINE 1/2]端子にファンタム電源を供給します。このスイッチがオンのとき、[+48V]インジケーターが点灯します。コンデンサーマイクを使用するときは、このスイッチをオンにしてください。

ファンタム電源ご使用時の注意

⚠ 注意

ファンタム電源が不要な場合、スイッチをオフにしてください。

ファンタム電源をオンにする場合、本体/外部機器の故障やノイズを防ぐために、次の内容にご注意ください。

- ・ [MIC/LINE 1/2]端子にファンタム電源非対応の機器を接続するときは、ファンタム電源のスイッチをオフにする。
- ・ ファンタム電源のスイッチをオンにしたまま、ケーブルの抜き差しをしない。
- ・ ファンタム電源のオン/オフは、出力コントロールを最小にした状態で行なう。

③ [MIDI OUT]端子

MIDI機器のMIDI INにつなぎます。コンピューターから送信されたMIDI信号を出力します。

④ [MIDI IN]端子

MIDI機器のMIDI OUTにつなぎます。MIDI信号をコンピューターに送信します。

⑤ [LINE OUTPUT 2/R 1/L]端子

モニタースピーカーなどを接続します。フォーンタイプ(バランス/アンバランス)のプラグをつなぐことができます。この端子は、[MIC/LINE]端子に入力された信号や、DAWなどのソフトウェアから出力された信号を出力します。

Yamaha Steinberg USB Driverについて

Yamaha Steinberg USB Driverは、本体とコンピューターの間でデータをやりとりするためのソフトウェアです。Yamaha Steinberg USB Driverには、コントロールパネルがあります。コントロールパネルで、Windowsではオーディオドライバーの基本設定を切り替え、Macではオーディオドライバーの情報を確認します。

Windows

画面の開きかた

- ・「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」または「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」→「Yamaha Steinberg USB Driver」
- ・Cubaseシリーズのメニューから、「デバイス」→「デバイス設定...」→「Yamaha Steinberg USB ASIO」→「コントロールパネル」

画面の切り替えかた

画面上部のタブをクリックすると、画面が切り替わります。

Steinberg UR22画面

本体のサンプリング周波数を切り替えます。



① Sample Rate

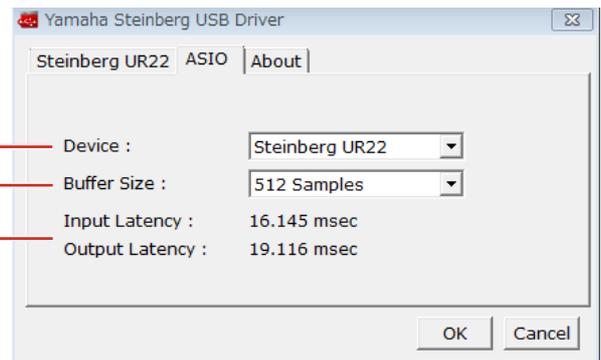
本体のサンプリング周波数を切り替えます。
選択肢：44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz

NOTE

設定できるサンプリング周波数は、DAWの対応するサンプリング周波数によって異なります。

ASIO画面

ASIOドライバーの設定を切り替えます。



① Device

ASIOドライバーで使う機器を切り替えます。ただし、コンピューターにYamaha Steinberg USB Driver対応機器が2台以上つながっているときに有効です。

② Buffer Size

ASIOドライバーのバッファサイズを切り替えます。サンプリング周波数の値で、バッファサイズの設定範囲が変わります。

サンプリング周波数 設定範囲

44.1 kHz/48 kHz	64 Samples～2048 Samples
88.2 kHz/96 kHz	128 Samples～4096 Samples
176.4 kHz/192 kHz	256 Samples～8192 Samples

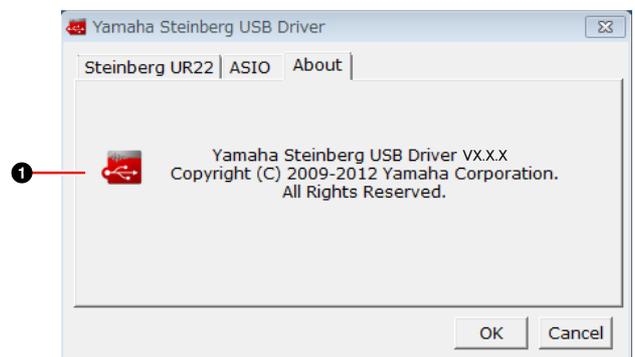
③ Input Latency/Output Latency

オーディオ入出力信号の遅延時間(レイテンシー)が、ミリ秒単位で表示されます。

レイテンシーの値は、バッファサイズによって変わります。バッファサイズの値を小さくするほど、レイテンシーの値が小さくなります。

About画面

オーディオドライバーの情報が表示されます。



① About

オーディオドライバーのバージョンと著作権情報が表示されます。x.x.xはバージョンを示します。

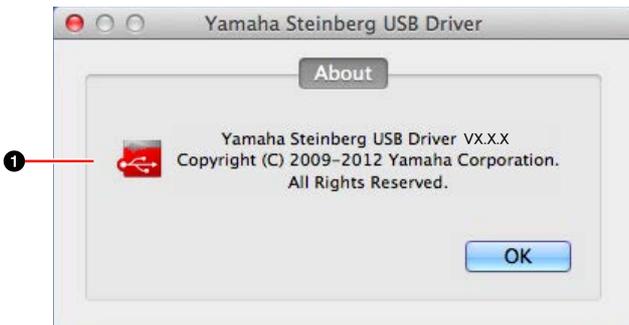
Mac

画面の開きかた

- ・「システム環境設定」→「Yamaha Steinberg USB」
- ・Cubaseシリーズのメニューから、「デバイス」→「デバイス設定...」→「Steinberg UR22」→「コントロールパネル」→「Open Config App」

About画面

オーディオドライバーの情報が表示されます。



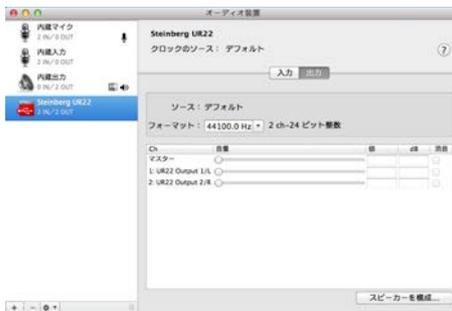
① About

オーディオドライバーのバージョンと著作権情報が表示されます。x.x.xはバージョンを示します。

Tips

サンプリング周波数の切り替え

「Audio MIDI 設定」で本体のサンプリング周波数を切り替えます。



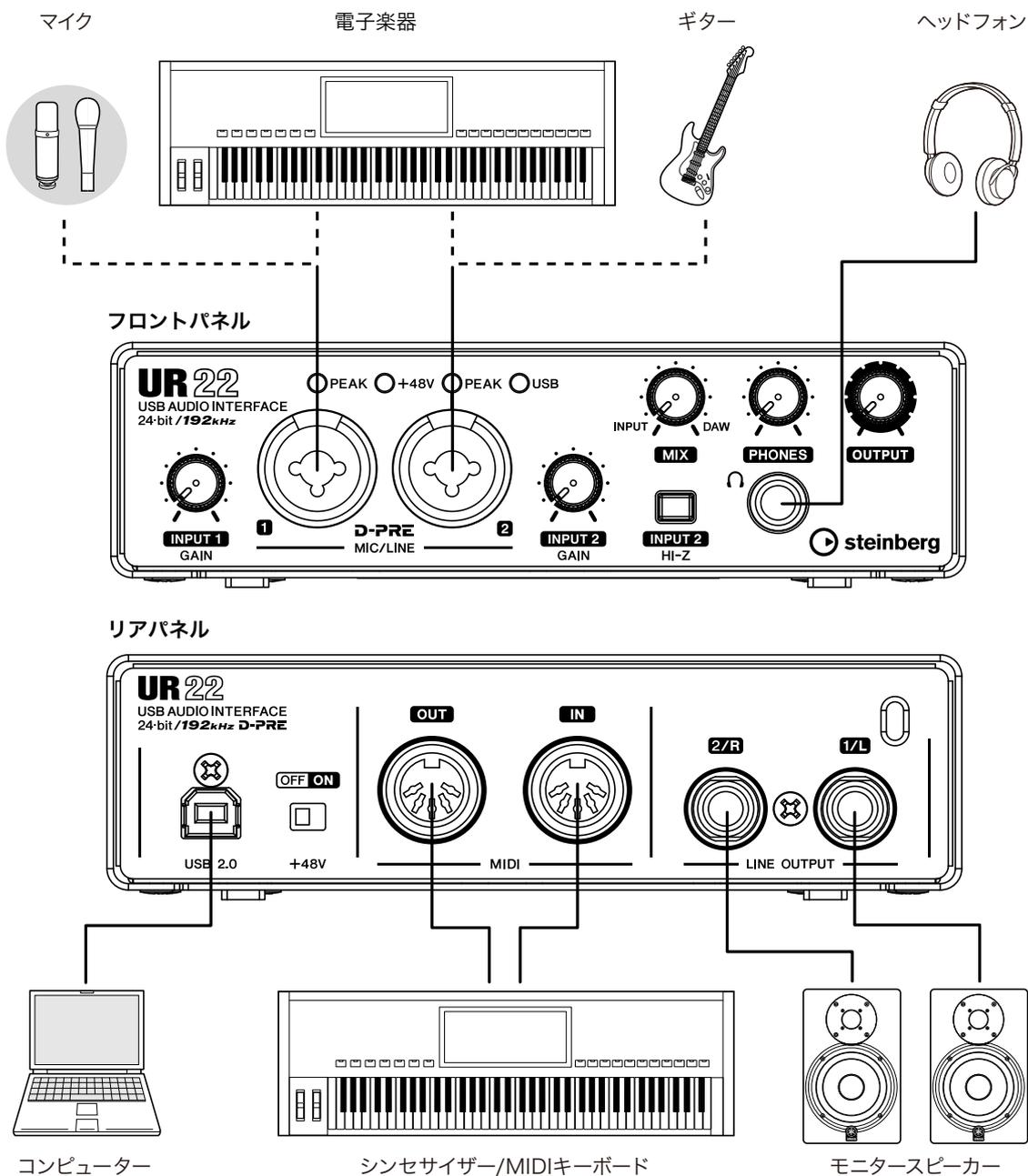
バッファサイズの切り替え

アプリケーション (DAWソフトウェアなど) から開く、バッファサイズを変更する画面で切り替えます。



基本的な使いかた

接続のしかた



⚠ 注意

ほかの機器との接続ケーブルを抜き差しするときは、必ず本体およびほかの機器の出力信号レベルを最小にしてください。大音量が出て、聴力障害、または機器の損傷になることがあります。

DAWソフトウェアのオーディオ設定

Cubaseシリーズ

1. すべてのアプリケーションが終了していることを確かめます。
2. 付属のUSBケーブルを使って、本体とコンピューターをつなぎます。

NOTE

(Windowsのみ)USBケーブルは、Yamaha Steinberg USB Driverのインストール時と同じUSB 端子にケーブルを接続してください。別のUSB 端子に接続した場合は、もう一度Yamaha Steinberg USB Driverのインストールが行なわれます。

3. デスクトップにあるCubaseシリーズのショートカットをダブルクリックして、Cubaseシリーズを起動します。
4. 起動中、「ASIOドライバー選択」画面が表示されたときは、本体が選ばれていることを確認して、「OK」をクリックします。

以上で、設定は完了です。

Cubaseシリーズ以外のDAWソフトウェア

1. すべてのアプリケーションが終了していることを確かめます。
2. 付属のUSBケーブルを使って、本体とコンピューターをつなぎます。

NOTE

・Yamaha Steinberg USB Driver対応機器は、1台だけ接続してください。

・(Windowsのみ)USBケーブルは、Yamaha Steinberg USB Driverのインストール時と同じUSB 端子にケーブルを接続してください。別のUSB 端子に接続した場合は、もう一度Yamaha Steinberg USB Driverのインストールが行なわれます。

3. DAWソフトウェアを起動します。
4. オーディオインターフェースを設定する画面を開きます。
5. (Windowsのみ) DAWソフトウェアが使用するドライバーを、ASIOに設定します。
6. 次のように設定します。

Windows

ASIOドライバーをYamaha Steinberg USB ASIOに設定します。

Mac

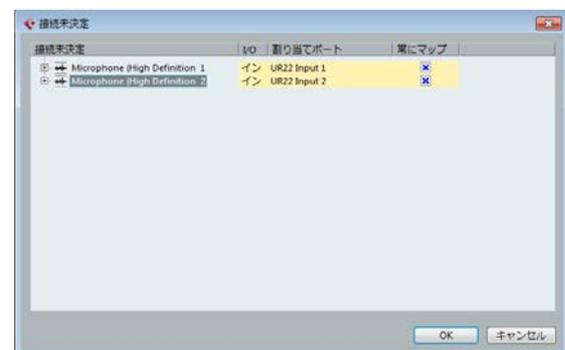
使用するオーディオインターフェースをUR22に設定します。

以上で、設定は完了です。

録音/再生のしかた

Cubaseシリーズ

1. Cubaseシリーズを起動します。
「プロジェクトアシスタント」画面が表示されます。
2. 「プロジェクトアシスタント」画面で、選択したいプロジェクトテンプレートを選んで、「作成」をクリックします。
3. 「接続未決定」画面が表示された場合は、各「割り当てポート」にUR22のポートを選択します。「常にマップ」にもチェックを入れて、「OK」をクリックします。



NOTE

「常にマップ」にチェックを入れると、次回からは「接続未決定」画面が表示されなくなります。

4. [MIX]ノブを[INPUT]と[DAW]の中心（12時の方向）にあわせませす。
5. マイクで音声を入力しながら、本体の[INPUT GAIN]ノブでマイクの入力信号レベルを調節します。
最適な録音レベルにするために、[INPUT 1 GAIN]ノブで[PEAK]インジケーターが赤く点灯するまで入力信号レベルをあげます。そのあと、赤く点灯しなくなるまでゆっくりと入力信号レベルをさげます。
6. マイクで音声を入力しながら、本体の[PHONES]ノブでヘッドフォンの出力信号レベルを調節します。
7. 「●」（録音）をクリックして、録音を開始します。



8. 録音が終わったら、「□」(停止)をクリックして停止します。



9. ルーラーをクリックして、再生を開始したい位置にプロジェクトカーソルを移動します。



10. 「>」(再生)をクリックして再生し、録音した音を聴きます。



モニタースピーカーで音を聴くときは、本体の[OUTPUT]ノブで出力信号レベルを調節します。

以上で、操作は完了です。

Cubaseシリーズの詳しい使いかたは、Cubaseシリーズのメニュー「ヘルプ」から開くPDF形式のマニュアルをお読みください。

Cubaseシリーズ以外のDAWソフトウェア

1. DAWソフトウェアを起動します。
2. マイクで音声を入力しながら、本体の[INPUT GAIN]ノブでマイクの入力信号レベルを調節します。
最適な録音レベルにするために、[INPUT 1 GAIN]ノブで[PEAK]インジケーターが赤く点灯するまで入力信号レベルをあげます。そのあと、赤く点灯しなくなるまでゆっくりと入力信号レベルを下げます。
3. マイクで音声を入力しながら、本体の[PHONES]ノブでヘッドフォンの出力信号レベルを調節します。
4. DAWソフトウェアで、録音を開始します。
5. 録音が終わったら、停止します。
6. 録音した部分を再生して、音を確認めます。

以上で、操作は完了です。

DAWソフトウェアの詳しい使いかたは、DAWソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

困ったときは

電源が入らない

•コンピューターと本体がUSBケーブルで正しく接続されていますか？

コンピューターと本体をUSBケーブルで接続することで、本体に電源が供給されます。

•適切なUSB ケーブルをお使いですか？

USBケーブルが断線などで劣化している場合は、新しいUSBケーブルに交換してください。また3メートル以下のUSBケーブルをお使いください。

•Yamaha Steinberg USB Driverのインストールは完了しましたか？

セットアップガイドを参照して、Yamaha Steinberg USB Driverのインストールを完了してください。

音が鳴らない

•本体のレベルは上がっていますか？

[OUTPUT]ノブや[PHONES]ノブのレベルを確かめてください。

•本体が、マイクやモニタースピーカーと正しくつながっていますか？

「接続のしかた」(9ページ)を参照して、マイクやモニタースピーカーが正しくつながっていることを確かめてください。

•DAWソフトウェアのオーディオ設定は完了しましたか？

「DAWソフトウェアのオーディオ設定」(10ページ)を参照して、DAWソフトウェアのオーディオ設定が完了していることを確かめてください。完了していなければ、もう一度設定してください。

•Cubaseシリーズの「ASIOドライバー」の設定は適切ですか？

Cubaseシリーズのメニューから、「デバイス」→「デバイス設定...」→「VSTオーディオシステム」を開き、右側の「ASIOドライバー」に「Yamaha Steinberg USB ASIO」(Windows)または「Steinberg UR22」(Mac)が選ばれていることを確かめてください。

•DAWソフトウェアの起動前に、コンピューターと本体を接続しましたか？

本体とコンピューターをつなげたあと、DAWソフトウェアを起動してください。

•本体とコンピューターが、USBハブ経由でつながっていませんか？

本体とコンピューターを直接つなげてください。

•Yamaha Steinberg USB Driverのインストールは完了しましたか？

セットアップガイドを参照して、Yamaha Steinberg USB Driverのインストールを完了してください。

•使っていないUSB機器が、コンピューターにつながっていませんか？

使っていないUSB機器を外したあと、音を確認してください。

•コンピューター上で、たくさんのアプリケーションを起動していませんか？

使っていないアプリケーションを終了したあと、音を確認してください。

•Yamaha Steinberg USB Driverのコントロールパネルで本体が選択されていますか？(Windowsの場合)

複数台のYamaha Steinberg USB Driver対応機器がつながっているときは、Yamaha Steinberg USB Driverのコントロールパネルの「Device」(7ページ)で、UR22を選択してください。

音が正常に鳴らない(ノイズ、音切れ、歪み)

•バッファサイズが小さすぎませんか？

「Yamaha Steinberg USB Driverについて」(7ページ)を参照して、バッファサイズを現在の値より大きな値に変更してください。

•お使いのコンピューターは、動作環境を満たしていますか？

動作環境を確かめてください。最新の情報は、以下のスタインバーグのウェブサイトをご参照ください。
<http://japan.steinberg.net/>

•DAWソフトウェア上で、たくさんのオーディオトラックを再生していませんか？

お使いのコンピューターの性能によっては、たくさんのオーディオトラックを再生すると音が途切れたりするこ

とがあります。オーディオトラックを少なくして、音を確認してください。

・有線/無線LANなどのネットワークアダプターは動作していませんか？

ネットワークアダプターの動作を停止してみてください。ネットワークアダプターがノイズの原因になることがあります。

音が重なって聞こえる

・本体への入力信号とDAWからの出力信号の両方が出力されています。

[MIX]ノブを[DAW]側へいっぱいにまわしてください。

USBインジケータが点滅したままコンピューターとつながらない

・Yamaha Steinberg USB Driverはインストールしましたか？

セットアップガイドを参照して、Yamaha Steinberg USB Driverのインストールを完了してください。

資料

Yamaha Steinberg USB Driverのアンインストール

Windows

1. コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
2. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
3. 次の方法で、アンインストールするための画面を表示します。
「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を選択し、「プログラムのアンインストールまたは変更」を表示します。
4. リストの中から「Yamaha Steinberg USB Driver」を選択します。
5. 次の方法でアンインストールします。
「アンインストール」/「アンインストールと変更」をクリックします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」または「はい」をクリックします。
ダイアログが表示されるので、画面の指示に従ってアンインストールします。

以上で、Yamaha Steinberg USB Driverのアンインストールは完了です。

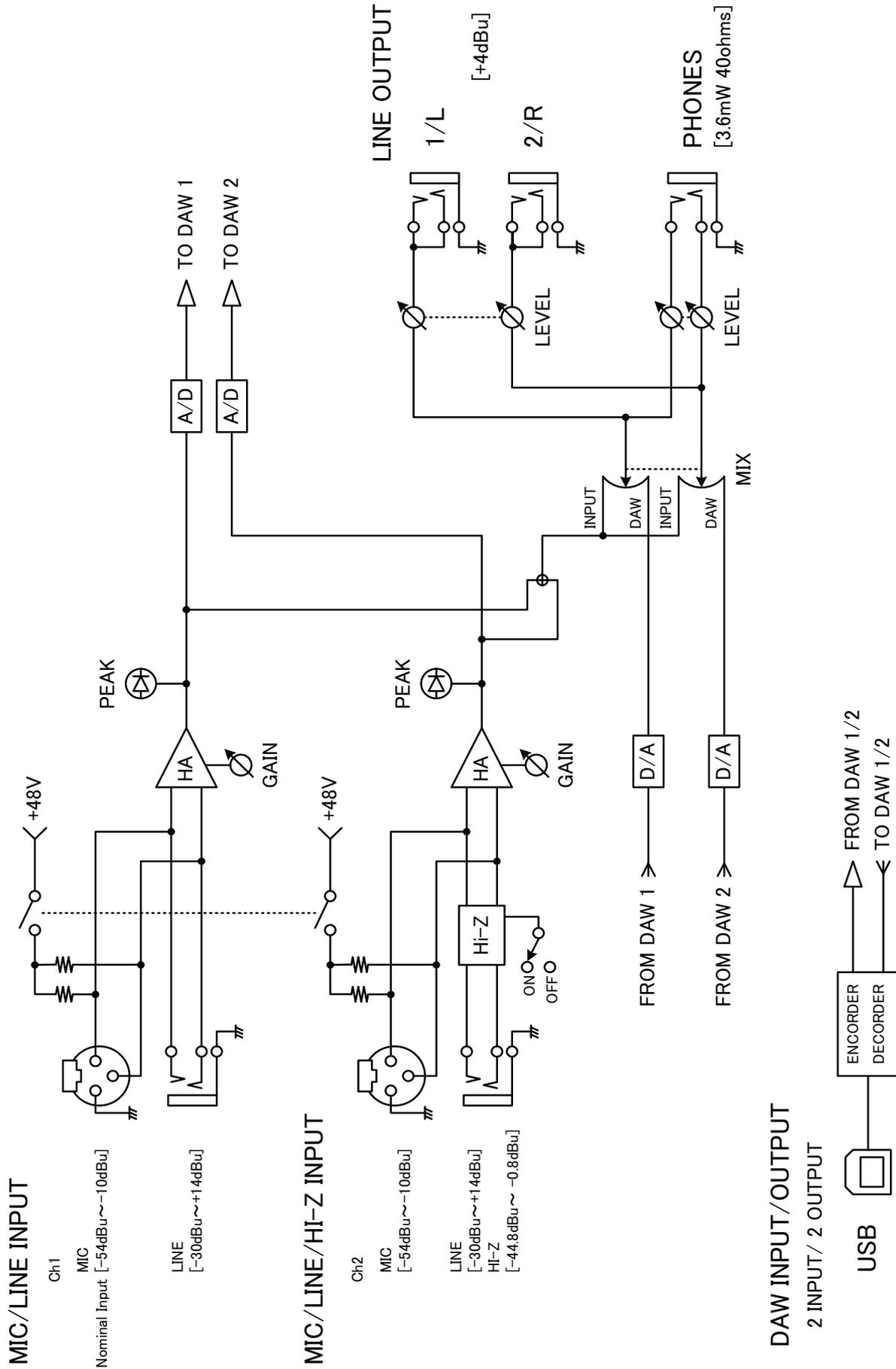
Mac

1. コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
2. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
3. TOOLS for UR22 CD-ROM をCD-ROMドライブに入れます。
4. CD-ROMを開き、「Uninstall Yamaha Steinberg USB Driver」をダブルクリックします。
5. 「Welcome to the Yamaha Steinberg USB Driver uninstaller.」と表示されるので、「Run」をクリックします。
以降は、画面の指示に従って削除を進めてください。
6. 削除が終わると、「Uninstallation completed.」と表示されます。「Restart」をクリックします。

7. コンピューターの再起動を促す画面が表示されるので、「再起動」をクリックします。

以上で、Yamaha Steinberg USB Driverのアンインストールは完了です。

ブロックダイアグラム



仕様

技術仕様

MIC INPUT 1/2 (バランス)	
最大入力レベル	±0 dBu
入力インピーダンス	4 kΩ
GAIN範囲	+10 dB ~ +54 dB
LINE INPUT 1/2 (バランス)	
最大入力レベル	+24 dBu
入力インピーダンス	20 kΩ
GAIN範囲	-14 dB ~ +30 dB
HI-Z INPUT 2 (アンバランス)	
最大入力レベル	+5.8 dBV
入力インピーダンス	1 MΩ
GAIN範囲	+0.8 dB ~ +44.8 dB
LINE OUTPUT 1/L 2/R (インピーダンスバランス)	
最大出力レベル	+10 dBu
出力インピーダンス	150 Ω
PHONES	
最大出力レベル	6 mW+6 mW, 40 Ω
USB	
仕様	USB2.0, 24 bit, 44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
XLR INPUT	
極性	 ピン1：グラウンド ピン2：ホット(+) ピン3：コールド(-)

一般仕様

最大外形寸法(W x H x D)	158.6 x 47 x 158.3 mm
質量	998 g
動作環境温度	0 ~ 40 °C
付属品	<ul style="list-style-type: none">・ セットアップガイド (紙)・ CUBASE AI DOWNLOAD INFORMATION(紙)・ TOOLS for UR22 CD-ROM・ USBケーブル

仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

Steinberg Web Site
<http://www.steinberg.net/>

C.S.G., PA Development Division
© 2012-2014 Yamaha Corporation

402MW-B0

